

特定非営利活動法人
神奈川県環境学習リーダー会
会 報 No. 62 2008年
7月20日発行

---目 次---

総会報告..... 1	大気環境部会..... 7	ホタル飛翔と発生地保全のお話..... 10
運営委員会報告..... 2	水環境部会..... 7	リレー登場
代表理事再任挨拶..... 3	自然環境部会..... 7	私の活動紹介..... 10
第7回親子で楽しむ環境..... 3	廃棄物 GO3 部会..... 8	子供と親の環境教室「地球っ子ひ ろば」7年目を迎えて..... 11
子ども環境体験教室開催..... 4	グリーン部会..... 8	かんきょう新語・流行語..... 12
部会報告	会員の広場	編集後記..... 12
ケナフ部会..... 5	NPO 法人化1年、さらなる飛 躍を..... 8	
エネルギー部会..... 6	キャンドルナイトの日..... 9	

平成 20 年度 NPO 法人 神奈川県環境学習リーダー会 総会報告

事務局 土屋 俊幸

平成 20 年度総会は、平成 20 年 5 月 17 日（土）13 時から神奈川県環境科学センターで開催された。当日は、会員 23 名の出席および神奈川県環境科学センターの飯田所長に来賓として出席いただいた。

吉田代表による代表挨拶、飯田所長による来賓挨拶、柳川議長のもと資格確認が行われ、出席者 23 名および委任状 71 名の計 94 名と、正会員数 124 名の過半数に達したため、議題に移った。

第 1 号議案 平成 19 年度事業報告

吉田代表理事より配布資料に基づき説明がなされた。新しい受託事業である「かながわコミュニティカレッジ」が実施された。月例の運営委員会後の情報交換会への出席者が少ないことへの意見が寄せられた。

第 2 号議案 平成 19 年度決算報告

会計担当の山本理事より説明、児玉監事より会計監査の報告がなされた。配布資料の合計金額が合わないという指摘があり、山本理事が説明を行った。

第 1 号議案と第 2 号議案（口頭で修正）を採決し、両方の議案とも承認された。

第 3 号議案 平成 20 年度事業計画

吉田代表理事より説明がなされた。新たに「夏休み子ども環境体験教室」を県より受託した。

第 4 号議案 平成 20 年度予算

山本理事より説明がなされた。
第 3 号議案と第 4 号議案は両議案とも承認された。

第 5 号議案 平成 20 年度役員候補

吉田代表理事より説明がなされた。原案通り承認された。

その後、議案とは別に吉田代表理事より新役員（理事）の担当役割および課題検討の報告（①会員の情報・親睦、②各部会の発展、③新規事業、協働事業、委託事業の推進、④独自事業の推進について）の説明がなされた。

議長解任、平成 19 年度退任役員挨拶、平成 20 年度役員挨拶ののち、閉会となった。

本年度は、総会後に神奈川県環境科学センターの方にセンター内の案内を実施していただいた。

なお、本年度の役員の役職及び担当は以下の通りである。

- 理事（代表理事）：吉田 榮一
- 理事（副代表理事、市民環境活動報告会などの既存事業、広報事業担当、大気環境部会長）：猪股 満智子
- 理事（副代表理事、新規事業主担当、廃棄物 GO3 部会長）：内藤 克利
- 理事（副代表理事、渉外主担当、水環境部会長）：齋藤 昭一
- 理事（事務局担当、自然環境部会長）：土屋 俊幸
- 理事（事務局担当）：桑原 清
- 理事（会計・経理主担当）：山本 和代
- 理事（会計・経理担当、広報部長）：岩下 次郎
- 理事（事務局担当、ケナフ部会長）：荒谷 輝正

☆☆

地球の生きものの未来のために、環境学習・保全活動をさらに進めよう

代表理事 吉田 榮一

平成20年5月29日の総会において選出された役員は1ページに記載の通りです。会員の皆様のご支援を得て、活動してまいりますので宜しくお願い申し上げます。

昨年度の総会でのご承認に従って手続きをして、公式には9月5日に神奈川県環境学習リーダー会から特定非営利活動法人 神奈川県環境学習リーダー会として再出発しました。特定非営利活動法人格取得に関して会員の皆様からいろいろとご意見・ご指摘を頂き、またその後設置した「課題検討委員会」でご検討下さいました事項を一つ一つ解決するために努力してまいりました。その結果、12の細則の決定、新規事業の提案、体制の見直しなどを進めてきました。まだまだ十分な状況ではありませんが今後とも当会としての環境学習・環境保全活動の実践と会員相互の親睦・情報交換・研鑽の2本柱で運営を進めてまいります。

今年は1997年(平成9年)の気候変動枠組み条約第3回締約国会議で採択された二酸化炭素などの温室効果ガス排出量の削減計画、すなわち京都議定書の第一約束期間(2008年から2012年の5年間)がスタートしました。そのためか、地球環境問題がテレビや新聞などで連日多くの番組・記事が報道されております。昨年のG8ハイリゲンダムサミットに続いて、本年度の洞爺湖サミットでも地球温暖化防止対策が主要なテーマとして取り上げられ、神奈川県でも本年1月7日には「クールネッサンス宣言」

を発表しております。京都議定書では先進国で1990年基準の平均5.2%の温室効果ガスの削減目標を11年~15年後に達成することが提案されたのですが、現在の議論では地球規模で40年程度のスパンではありますが、温室効果ガスの50%~80%の削減が議論されています。このような大きな削減計画が議論されていることは気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の第4次報告書に記載されているようにそれだけ地球規模の危機に直面しているという認識に基づいているものですし、これらに関連してさらに鉱物・水産資源・食糧・水の問題もでてきています。ただ、このような状況ではありますが、一般の方々の認識は必ずしもそれほど高いとはいえないように思います。

このような情勢を踏まえて低炭素社会・自然共生社会づくりに向けて我がK・リーダー会は何に重点を置いて活動すべきなのでしょう？この具体的な答は皆様と共に議論して方向付けし、次々と実践することだと思います。ただ、まずは各自が徹底的に実践しているエコライフを身近な地域の方々に広めることと、K・リーダー会が議論して進めることを決めたプロジェクトに積極的に参画し、より大きな力となるよう行動すること、さらに根本的な解決には革新的技術の進歩が重要ですから、このためのK・リーダー会としての役割も視野に入れて実践することだと思います。皆様の叡智と行動力に期待しております。

☆☆

第7回 親子で楽しむ環境展

実行委員長 吉田 榮一

第7回親子で楽しむ環境展を、去る6月14日(土)に横浜新都市プラザ(横浜そごう時計台前)で開催しました。神奈川県環境計画課、当会各部会をはじめフェリス女学院大学国際交流学部、首都大学東京大学院地理環境科学専攻、多くのNPO法人などの団体・企業が参画して下さり、さらにK・リーダー会会員各位のご協力により、成功裏に実施することができました。誠にありがとうございました。

当初の環境展の目的は会員が日頃の活動を県民の

方々にお知らせし、環境問題の大切さを訴えるものでした。それがここ何回かは「かながわアジェンダ推進センター」事業として、温暖化防止の推進に力を注いできました。また、昨年からはより多くの県民の方に展示内容を体験し・見ていただくように、開催会場を変え、さらに体験型展示物を多くするなど親子がさらに楽しめるように企画の改変も行っております。特に今年は京都議定書の第一約束期間がスタートし、洞爺湖サミットの開催を間近にひかえ、神奈川県のコールネッサンス宣言など内外の環境に対する関心の高まりの中での開催となり、運営委員の皆さまも非常に力が入っていました。

その結果、本年度は3,000名を超える親子を中心とした来場客を迎え、マイアジェンダ登録者も998



松沢神奈川県知事も紙すき体験



子どもにペン立て指導をする古澤さん

- ・6月23日 相模原市湘南小学校6年生7名で牛乳パックを利用した「紙すき体験」及び地球温暖

化、3Rについての出前講座を実施。実習について大変興味をもってもらい喜んでもらった。この小学校は旧城山町にある6年生7名の小規模学校であり、私達としても新相模原での初めての経験で大変有益であった。

3. 今後の予定

7月20日 ケナフ部会例会。子ども環境体験教室の打合せ

7月27日 「子ども環境体験教室」相模原市立環境情報センター

「古紙紙管を利用して写真立てを作ろう」

7月28日 「横浜丸山台小学校」での工作教室

「古紙紙管を利用してペン立てを作ろう」

8月18～19日、28日 横浜京急百貨店（上大岡）

夏休みエコパーク ～木と紙に触れ合う2日間～

「ケナフを使って自分だけのハガキを作ろう」

4. その他

多くの開催依頼がありますが、残念ながら人員不足、開催希望場所付近に会員がいないこと等でお断りしています。

エネルギー部会

部会長 安藤 紘史

活動予定（'08年7月～9月）

定例部会（於：県民サポートセンター）

7月9日（水）16:00～18:00 601号室

8月13日（水）16:00～18:00 701号室

9月10日（水）16:00～18:00 701号室

活動報告（'08年5月～6月）

5月度定例部会：

5月14日（水）16:00～18:00

場所：県民サポートセンター 601号室

参加者：7名

①親子で楽しむ環境展の出展内容打ち合わせ

②情報交換

- ・アースポリシー研究所の発表から（岩澤）世界のCO₂の排出量増加率は年3.1%でIPCC予測の最悪値よりはるかに高い値で推移。世界のCO₂の排出量は、その上位5カ国（米、中国、露、印、日本）で1/2を占める。

・冷蔵庫の消費電力実測結果報告

冷蔵庫の買い替えにより大幅な電力量削減に繋がった測定例の紹介（児玉）

逆に、20年前の冷蔵庫と8年前の冷蔵庫の消費電力が予想ほどの差がない実測値報告（安藤）

6月度定例部会：

6月11日（水）16:00～18:00

場所：県民サポートセンター 601号室

参加者：7名

①入部会員 四井さん紹介

②親子で楽しむ環境展の出展内容打ち合わせ

③情報交換

・日本のエネルギー消費諸データ紹介（桑原）

・日本の発電における石炭消費の急増状況（安藤）

親子で楽しむ環境展参加（6月14日）

待機電力測定と、大人用、子ども用「あなたの省エネチェック」のパネル展示。

併せて、子ども向けに「シールを貼るチェックシート」作成。ある程度の参加者と好反応を得る。

大気環境部会

部会長 猪股 満智子

活動予定 (08年7月～9月)

7月20日(日)9:30～12のMANDARA講習を会報発行作業と重なり延期。8,9月中実施に向け再調整。

9月27日(土)13:30～16:00 NPOセンター大船

定例部会(6月度NO₂測定評価、国立環境研シンポ等情報交換・連絡事項等)

活動報告(08年5月～6月)

5月24日(土)13:30～16:30 NPOセンター大船

出席;安藤、伊藤、井上、長村、鎌田、草野、立石、村上、森脇、安丸、猪股

- ・新年度活動方針確認
- ・6月度NO₂測定用ろ紙充填

6月5日(木)夕～6日(金)夕の24時間測定実施測定協力会員の方々、ありがとうございました。

6月14日(土)9～17時 横浜駅新都市プラザ「親子で楽しむ環境展」に出展

6月15日(日)13:30～16:15 KERC実習室

- ・6月度NO₂測定分析
- ・はまぎんこども宇宙科学館「環境自然教室」事

業打ち合わせ

7月5日(土)13～16時 はまぎんこども宇宙科学館事業 洋光台サイエンスクラブ“環境自然教室”講師派遣;安藤紘史、猪股満智子、伊藤富男、森脇清、吉田榮一

参加ご協力お願いします!

気候変動を見守ろう

身近な生き物を指標に初確認日をご報告下さい。キーワードは「いつ、どこで、初見、初聞き」対象例:カントウタンポポ、ツバメ等鳥類、セミチョウ類(特に南方系)、トンボ 遠出をする必要はありません。自宅周辺、外出の際などに、ほんのちょっと注意をはらうと、毎年の様子、季節変化が手に取るよう。マップデータ化します。

送り先 tel&fax 0467-32-6858 猪股 満智子
Eメール km_inmt@ybb.ne.jp

夏はセミ。鳴き声で種類がわかりますね。8月末、KERC事業「子ども環境体験教室」では、小田原城址公園を会場に、セミの抜けがらによる同定が行われます。子どもに負けぬよう私たちもしっかり聞き分けができますよう。

水環境部会

部会長 齋藤 昭一

7月27日(日)JR松田駅(山側)9時集合

9月14日(日)JR松田駅(山側)9時集合

8月は個人活動の月です。部会はお休みします。

4月20日、5月18日、6月22日、3回の調査が終了した。エビ、カニを中心とした「川の連続性」に

ついて河口より約1500mを目安にして途切れることがほぼ判明した。後半はその明快な証明のための調査を始めたい。9月から予定していた相模川の調査が延期になったので、この体制のまま続けて酒匂川の調査を行います。集合場所はJR松田駅(山側)9時集合です。部会活動の出欠について「いつも連絡をする人」いつも無断欠席の人、ご一考あれば幸いです。

自然環境部会

部会長 土屋 俊幸

7～9月活動予定

会報発行時には終了していますが、自然観察会を7月6日に実施する予定です。場所は横浜市青葉区「寺家ふるさと村」です。里山の観察になります。

また、本年度テーマにしている海岸侵食についての現地観察会も実施したいと考えています。(時期

未定)

4～6月活動報告

5月23日に部会合を行い、今年度の活動について、環境展の展示についての話し合いを行いました。

6月14日の親子で楽しむ環境展で、海岸侵食についてのパネル展示を行いました。

廃棄物GO3部会

部会長 内藤 克利

今年も各市町村のごみ分別カレンダーを収集します。集まってから内容を解析し、不明点があれば該当市町村に確認するなど地味な活動です。可燃ごみの減量による焼却炉の性能維持に寄与すると共に、可燃ごみの資源化も検討したい所です。

生ゴミ、天ぷら廃油、庭の剪定枝などが今回の検

討項目です。

人手不足で収集に手間取っていますが、7月中には収集完了としたいところです。

尚、過去9年分の市町村別分別カレンダーのファイルが環境科学センターに保管されております。貸し出しはしておりませんが、センターに行けば見ることができます。

グリーン部会

部会員 齋藤 美代子

<今後の活動予定>

①平塚環境フェア

日時：7月27日(日) 10:00~16:00

場所：平塚市総合体育館(総合公園内)

新作「宇宙人ミノリン」紙芝居公演 午前1回、午後1回

②8月予定、打ち合わせ会(内容検討と役割について)

- ・環境学習指導コース(10月)について
- ・コミュニティーカレッジ(11月)について

③9月予定、打ち合わせ会(10月、11月講座、当日までの準備と確認について)

■7月27日開催 “ひらつか環境フェア” お近くの皆様の参加待っています。また、私たちと一緒にグリーン部会で活動をされる方お待ちしております。

<活動報告>

①打ち合わせ会

6月1日(日) 10:00~12:00

場所：ひらつか市民活動センター

参加者：上田、下条、柳川、齋藤

- 議題 1. 今年度の予定と担当を決める
2. 7月27日(日)平塚環境フェアについて

出展内容は米山さん作成：新作紙芝居「宇宙人ミノリン」初上演

②打ち合わせ会と紙芝居練習会

7月5日(土) 14:00~16:30

場所：ひらつか市民活動センター、研修室

参加者：柳川、米山、齋藤

- 議題 1. 平塚環境フェアについて
紙芝居内容確認と上演練習、紙芝居サイズ変更について
2. 環境学習指導コース(10月4日)について
昨年の内容ふりかえりと、今回の検討、ワークショップ取り入れる
次回の打ち合わせ会に各自のプログラム案を、勘案した内容とする
3. コミュニティーカレッジ(11月15日)について
今年度の内容について

☆☆

会員の広場

NPO 法人化1年、さらなる飛躍を

渉外担当理事 齋藤 昭一

6月14日横浜駅東口、そごう前の広場で「親子で親しむ環境展」が開かれた。神奈川県でも「クールネサンス展」と銘打ち、松沢現知事までが出席された。しかもマイクを持って「蛍光電球」の素晴らしさをアピールされていた。さらにはそれぞれの展示物をしっかりと観察して下さり、その全てに質問

をしていただいた。実演のコーナーでは興味深く、特にケナフのコーナーでは自ら「紙の漉き取り」に小川氏の説明を聞きながら挑戦された。

特別出演でフェリス女子大の「キリバス共和国」についてのレポートの発表、若さを超えた迫力があつた。人口92000人の国、海拔3m、温暖化が進むと海の中に没してしまう。知事も熱心に耳を傾けておられたのが印象的であった。

各コーナーの案内をしたのが吉田栄一代表である。その光景を追いながら、代表の後姿に頼もしさを見た。1993年に発足して17年余り、昨年NPO法人

として新たなる出発をして1年がすぎた。多様化してきたK・リーダー会の舵取りをしっかりと力強く辛抱強く、推進してきた代表である。今後のK・リーダー会のさらなる発展のために頑張っていたかなければならない大事な人である。そのためにもK・リーダー会は全員一致団結協力して更なる努力をしていくべきであると思った。

NPO 法人化ということは私達が一人前になったという証でもあるのである。今後は行政からだけではなく企業からの仕事の、またそれに連なる部分の作業依頼もあるであろうと想定される。私達はそれを受けることがあれば全員の力を結集して対処して行きたいものである。

現在良いお話が種々寄せられるようになった。その1つに「〇〇遊水地公園事業計画」というようなものがある。これは1つに「地域防災機能の充実」、

2つに「自然とのふれあい創出」、3つに「コミュニティーの醸成」の目的を持ったものである。私達に2番目の項目について協同していただけないかとお話である。先日その企業の本社まで行き、関係者の方々と種々お話ししてきた。これから入札、落札、発注、契約等々いろいろな作業が続くが、「決定」という発表までにはかなりの紆余屈折があるであろう。決まった時には皆様方の絶大なる協力をお願いしたい。

皆様が活躍する場のテーマとして、次の項目が示されている。

- ①「川の生き物調査」②「地層観察」③「植物観察」
- ④「ビオトープとは」⑤「バードウォッチング」⑥「今、地球環境は・・・」⑦「自然環境再生」⑧「ゴミ減量社会にむけて」、等々あり、是非挑戦したいものである。

会員の広場

キャンドルナイトの日

齋藤 美代子 (平塚市)

2002年に始まった“キャンドルナイト”が今年で6年目を迎えました。

「夏至と冬至の日の夜8時から10時までの2時間、電気を消して、ろうそくの灯りでおしゃべりをしたり、絵本を読んだりして過ごしましょう！」という呼びかけで始まり、参加者の輪が年々広がっています。

この、「100万人のキャンドルナイト」が始まるヒントは、カナダで原子力発電に反対する人たちの自主停電の意思表示でした。

これを元に、日本でも地球温暖化の原因となる二酸化炭素の削減をみんなで考えようと言う目的で始まりました。

家族でのキャンドルナイトまた、イベントでのキャンドルナイトの取り組みは、場所は違いますが、子供から大人まで、地球温暖化防止への関心を広げていく一つのきっかけとなります。

私達も以前、保育園の子供たちと一緒に、給食に使ったてんぷら油の廃油でろうそくを作りました。赤、青、オレンジの色を付けたろうそくを、子供が大事に家に持ち帰りました。そこに「ろうそくを囲んで、素敵な家族の時間を過ごしてください」とメッセージをつけました。

かつての日本では、「灯りは、ろうそくや行灯だ

けが、暗闇を照らす手段だった」と言っていた我が家のおじいちゃん。昼間は田畑で働き、暗くなる頃みんなそれぞれの家路につきます。そして、家族が灯りの周りに集まりました。灯りが家族をつないでいました。おじいちゃんは「子供の頃のある日、家に電気が来た。その時の明るさの驚きは今でもはつきりと憶えているよ！」と言っていました。夜は、かつてずっと暗闇だった日本も時代と共に、いつの間にか国内の何処に行っても電気の明かりがつく様になりました。現在は皆さんご存知の「夜の地球」の写真に見る様に日本列島の夜は電気の明かりでひかり輝いています。

毎夜、ひかり輝いている国に住む私たち“キャンドルナイト”で少しの暗闇を取り戻し、地球環境について、考え、また家族が向き合う時間にすると良いでしょう。

灯りで家族がつながっていた頃のように、私たちのこれからは、公平な灯り（エネルギー）で地球のみんながつながる事を願っています。

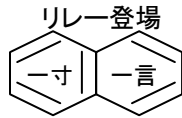


定の理由を説明してから取り付けしました。いつも心配しているのは誰かにいたずらされてサンプル瓶を持ち去られないか気にかけています。回収時にサンプル瓶を見つけるとほっとします。私は持病の腰痛があるので、2時間半の歩行はきつくなってきました。

横浜市には区民会議のボランティア組織があります。防災、防犯、街づくり等の活動をしています。行政の足りないところを要望することもあります。私は昨年南区の区民会議に応募し企画委員と運営委員になりました。直に区役所の担当者から環境分科会を立ち上げて活動してはとの話があり、企画委員と運営委員から募集して数名で分科会を立ち上げ代表になりました。身近なことで「1枚のレジ袋より環境問題を考える」をテーマにして活動に取り組み

ました。区役所の G30 部署に協力して「お買いものキャンペーン」でレジ袋削減とマイバッグ運動を推進しています。また昨年秋に南区の「顧問・区長・委員との交流会」で司会を務めましたが、討論の資料に何個かのクイズを作りました。その時にレジ袋に使用する原油の量を求めるのに悩んだことがあります。インターネットを利用すると数値を知ることができますが、その数値をそのまま使用して良いか基礎的な知識が足りない私は、仲間から教えてもらいましたが資料作りの大変さを感じました。ボランティア活動は未熟な私ですが、仲間や行政も応援してくれるので、有り難く思い地元で続けたいと思っています。

次回は下條泰生さんをお願いします。



子供と親の環境教室 「地球っ子ひろば」7年目を迎えて

齋藤 美代子 (平塚市)

子供達と共に環境改善の取り組みをする事が重要に思いました。

心を同じくした養成講座7期生とともに始めた子供への環境教室。2002年より現在までに、毎月の教室を開催し、その他の依頼された教室開催、またイベント参加も数えると100回を超える程になりました。

最近では、教室に参加してくれる小学生が中学生となり、ヤングスタッフとして私達と一緒に指導してくれる、ほほえましい場面も生まれてきました。

養成講座卒業生が中心だったスタッフも地域の方がひとり、またひとりが増えてスタッフも10代の学生や20代の社会人から主婦、定年後の方までの幅広い地域を巻き込んだスタッフ層となりました。

一昨年は活動を始めて5周年記念にと、念願の「エコかるた」を製作しました。平塚市内の小学校28校にポスターを配り、校長先生や教頭先生に説明とお願いをした結果、多くの学校から絵札と読み札、800点の応募をいただきました。どれも素晴らしい作品でしたがその中から、より優れた51首の読み札と53枚の絵札を選び、かるたにしました。

昨年と共に今年も、夏休みには、中高生のボランティアと一緒にかるたづくりをします。今後は小学校に配ったり、貸し出したりして、多くの子供達にかるた遊びを通して、たのしく環境を学んで欲しい

と願っています。

昨年、このような私達の活動を、ふとしたきっかけで、地域の自治会の方に知っていただく事になり、助成金をいただきました。助成をするにあたって、自治会内で議論されたそうです。「地元限定の活動ではないが地球環境という今、大変大事な事に取り組んでいる。地元の人が頑張っているのだから、地元が応援しなければ…」と応援メッセージとともに活動資金をいただきました。

大変ありがたく、そして嬉しい気持ちになりました。市民活動を継続していく事は大変難しく常に、さまざまな問題を越えていかなければなりません。そんな私達に頑張れよっと、背中を押していただきました。

その「ありがとう」の思いを地域の公民館まつりや、渋田川のさくらまつりに環境教室の出展という形で私たちは思いに応えました。

地域での環境活動は、今まで平塚市、県などのイベントに参加させていただいた手ごたえとは違う反応があり、おどろきました。

どこが違っていたのかと考えてみますと、日ごろの地域でのお付き合いの関係からお互いに顔が見える間柄で、親近感からか私たちの活動に大変興味と関心をもたれます。

環境についての疑問を、みんなが遠慮なく質問をされます。環境にあまり関心の無かった人が立ち寄って関心を示してくれます。多くのまだあまり関心を持っていない人への啓発には大変効果的な事を感じました。

是非みなさまもいつも活動している事を、自分の生活地域で、いつも顔を合わせているご近所の方々の前での活動にチャレンジしてみませんか。何か新

